

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

国際経済論は、国々との間の経済関係や、国際経済の枠組みのなかでとらえた各国経済の現象に関する科目である。

前半は、国際収支の仕組み、外国為替のメカニズム、経済発展、国際貿易および経済成長の理論の基礎、後半は、国際貿易・海外直接投資、産業集積、社会関係資本・社会ネットワーク、経済協力・政府開発援助・SDGsなど経済発展の諸要因を講義する。

投資家向けに経済・企業業績予測などの情報を提供しているみずほ証券リサーチ&コンサルティング、上場企業社外取締役としての実務経験に基づいて、国際経済の分析手法について詳しく講義する。

授業計画

第 1 回	講義の概要
第 2 回	国際収支の仕組み
第 3 回	外国為替のメカニズム
第 4 回	経済発展について
第 5 回	国際貿易および経済成長の理論
第 6 回	内生的経済成長論
第 7 回	貧困の罅・所得格差
第 8 回	中所得国の罅
第 9 回	国際貿易・海外直接投資
第 10 回	産業集積について
第 11 回	社会関係資本・社会ネットワーク
第 12 回	社会および経済制度
第 13 回	経済発展の政治経済学
第 14 回	環境・農村開発
第 15 回	経済協力・政府開発援助・SDGs
第 16 回	期末試験

到達目標

- ・国際経済に関する理論・用語について、ノートテイキングができること。
- ・国際経済の変化や日本との関係について、考えることができること。
- ・授業を踏まえて、国際経済論に関する経済用語を用いて論述することができること。

履修上の注意

遅刻や欠席をしないようにしてください。国際金融論、欧米経済事情も履修することが望ましい。

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。国際経済の実態についても講義するため、新聞などをよく読んでください。

評価方法

期末試験（70%）、リアクションペーパー（30%）。

テキスト

教科書は使用せず、適宜、レジメなどを配布する。